

次世代ソーラーシステム《そよ風》

設計・工事 説明書（メンテナンス編・保証規定編）

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しております。

本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ここでは、《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》をメンテナンスする前にお読みいただきたいことを記載しております。

《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》をメンテナンスする前に必ずお読み下さい。

注意マークの説明

マーク	名称	意味
	禁止	行なってはいけない内容を告げるマークです
	感電注意	感電のおそれのある内容を告げるマークです。
	分解禁止	分解してはいけない内容を告げるマークです。
	指示	必ずすることを告げるマークです。

注意事項

マーク	注意事項
	ぬれた手で制御盤の操作を行わないでください。また、センサーや本体ユニット・切替ファンユニット・ダンパーボックスに触らないでください。 感電や故障の原因となるおそれがあります。
	洗剤やシンナーを使っでの清掃は行わないでください。 制御盤の清掃は乾いた布もしくは固く絞った布で軽く拭きとる程度にしてください。感電、故障、塗装面の劣化の原因となるおそれがあります。
	制御盤パワーユニットを分解、修理、改造を行わないで下さい。 感電、故障、誤作動の原因となるおそれがあります。

マーク	注意事項
	<p>制御盤やファンユニット・ダンパーボックスに水をかけたりものや体をぶつけないでください。故障、火災、感電の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>右側にあるリセットスイッチ・緊急停止スイッチなどを除き、尖ったものや固いもので操作しないでください。故障の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>表示された電源電圧<交流 100 ボルト>以外の電圧で使用しないで下さい。火災、感電の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>万一機器から煙が出ている、変な臭いや音ができるなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となるおそれがあります。すぐにシステムのブレーカを切るか機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態が治まるのを確認し、修理を依頼してください。</p>
	<p>万一機器内部に水や異物などが入った場合には、すぐにシステムのブレーカを切るか機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて環境創機へ連絡し、修理・点検を依頼してください。そのまま使用すると火災、感電の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>電源コードやCU電源ケーブルの断線、芯線の露出などコードが傷んだ場合には、環境創機へ連絡し、修理を依頼して下さい。そのまま使用すると火災、感電の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>パワーユニットの電源は必ず専用回路により電源供給してください。</p>
	<p>パワーユニットは、必ずアースに接続してください。漏電により火災、感電の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>パワーユニットの通風口をふさがないでください。通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>制御盤本体に電池を装着する場合、極性表示に注意し取扱説明書に従って装着してください。極性を間違えると電池の破裂、液漏れによる火災・怪我、周囲を汚損するおそれがあります。</p>

マーク	注意事項
	<p>電池は、加熱したり、分解したり、火の中に入れてください。電池の破裂、液漏れによる火災、怪我の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>電池は、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス(+)とマイナス(-)がショートし、電池の破裂、液漏れによる火災、怪我の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>塗装や装飾をしないでください。故障、火災の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>油煙や湯気を当てないようにしてください。故障の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>冬季には、「夏モード」を選択しないでください。凍結により熱交換コイルが破損するおそれがあります。</p>
	<p>《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》機器の設置後は、引渡し前であっても、なるべくパワーユニットの電源を入れて取入運転をさせてください。 集熱温度が高温になり、故障するおそれがあります。</p>
	<p>暖房用ボイラーを設置する場合には、追い焚き機能のある複合機ではなく、必ず暖房専用機を使用してください。</p>
	<p>お湯採り機能や補助暖房機能を設置する場合には、コイルや配管の凍結破損を防止するために、必ず不凍液を使用してください。</p>
	<p>お湯採りや補助暖房用の不凍液を交換する場合、必ずご使用になる機器の工事説明書に指定されている不凍液を使用し、水道水を使わないでください。凍結によるコイル破損の他、水質上の問題による穴あきなどの原因となるおそれがあります。</p>
	<p>定期的に所定の点検・フィルターの清掃・交換などのメンテナンスをしてください。何か異常が見つかった場合には、環境創機に連絡し、修理などの対応をしてください。点検やメンテナンスを怠った場合、破損の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>取入ダクトが露出して設置されている場合、強い力を加えたり穴を開けるなどの行為は避けてください。 破損の原因となるほか、怪我などをするおそれがあります。</p>

マーク	注意事項
	積雪地に設置する場合は、屋根を積雪に耐えられるような構造とし、集熱チャンバーや切替チャンバーにかかる荷重を耐えられるよう、補強をするか又はそれに代わる処置を講じてください。
	塩害地に設置する場合は、塩害に対応する緊結金物を使用してください。
	屋根等で作業する場合、必ず安全防護具を着用してください。
	屋根等への引き揚げ作業時には必ず安全対策を施してください。
	凍結防止が必要な場合は、配管の保温工事を行なってください。
	ホルムアルデヒドによる室内空気汚染への対策として、集熱空気が接する部分に使用する材料は、次のいずれかの基準に合致するものとしてください。 a) 建築基準法施行令第20条の7第1項第1号に規定する第一種ホルムアルデヒド発散建築材料又は同項第2号に規定する第二種ホルムアルデヒド発散建築材料若しくは第三種ホルムアルデヒド発散建築材料のいずれにも該当しないものであること。 b) 同条第4項に基づく国土交通大臣の認定を受けたものであること。
	《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》を施工するために使用するシーリング材等の施工材料は、厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」における13物質（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン、クロルピリホス、フタル酸ジ-n-ブチル、テトラデカン、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、ダイアジノン、アセトアルデヒド、フェノブカルブ、総揮発性有機化合物量（TVOC））を使用していない材料、又は使用量、放散量が少ない材料を選択する必要があります。

マーク	注意事項
	<p>《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》は、一般家庭向け、もしくは、社会福祉施設における使用を想定しています。 業務用等で使用する場合は、保証規定の適用外になります。</p>

目次

安全のために	2
注意マークの説明	2
注意事項	2
目次	7
メンテナンス編	9
メンテナンスについて	10
定期点検と臨時点検	10
メンテナンス部品の保有期間	10
主なメンテナンス・お手入れ項目	11
臨時点検の項目	12
各構成部品とメンテナンスの時期	13
制御盤	13
そよ風2ユニット・そよ風2Nユニット	15
そよ換気ユニット	17
そよ風 切替ユニット・お湯採りコイルユニット	19
そよ風 ダンパー付リターンロ・リターンボックス	22
そよ風 集熱ファンユニット	24
集熱面	25
補助暖房製品	28
その他	29
メンテナンス部品の交換方法	32
そよ風2N ファンユニットの交換	32
そよ風2N ダンパーモーターの交換	34
そよ風2 ファンユニットの交換	35
そよ風2 排気ダンパーモーターの交換	37
そよ風2 リターンダンパーモーターの交換	40
そよ風2 コイルユニットの交換	41
そよ換気 ファンの交換	43

そよ換気 ダンパーモーターの交換.....	44
そよ風 排気ファンの交換.....	46
そよ風 切替ユニット ダンパーモーターの交換.....	49
そよ風 ダンパー付リターンロ ダンパーモーターの交換.....	51
そよ風 フィルターの交換.....	53
そよ風 ハイパーファンの交換.....	55
そよ風 T18SKB 取入ファンの交換.....	55
そよ風 T18SKB フィルターの交換.....	57
補助暖房コイルユニットの交換.....	59
保証規定編.....	60
《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》部材の保証.....	61

メンテナンス編

メンテナンスについて

《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》は、建物と一体となっており、単純な仕組みで構成されていますので、比較的故障する部分も少ないシステムです。

しかしながら、全くのメンテナンスフリーのシステムでは無く、他の空調機器と同様に、お手入れや点検をしないと常に快適な室内環境を保ち続けることはできません。

住み続けるにつれて、室内外のホコリなどは機器に付着して、本来得られるべき効果を減じたり、機能しなくなったりするおそれがあります。

また、台風や積雪など、自然災害などによっても、機器が損傷するおそれがあります。

機器のメンテナンスや点検方法を知り、適切に対処したりお手入れすることで、効果を保ち、製品の寿命を延ばすことができます。

定期点検と臨時点検

《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》機器について行う点検する内容ですが、定期的に点検するものと、特別な状況に際して、臨時に点検するものの2種類があります。

定期点検・・・ 通常の場合、下記の定期点検に定めた期間毎に点検を行なって下さい。

臨時点検・・・ 下記の自然現象が起きたときに、都度点検を行なってください。

臨時点検では、台風・積雪・地震・雷が起きた場合に点検する内容を定めています。

メンテナンス部品の保有期間

環境創機では、《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》に関するメンテナンス部品の保有期間を当該部品の生産中止後、10年間としております。

10年間を経過した後の製品についての、メンテナンス方法については環境創機に直接お問い合わせください。

主なメンテナンス・お手入れ項目

部材名称	対象部分	保証年数	定期点検 推奨期間	想定 耐用年数
制御盤	本体	2年	1・3・5年・・・	5～7年
	温度センサー	5年	3年毎	10年
そよ風2ユニット そよ風2Nユニット	箱体（断熱材含む）	5年	3年毎	10年
	ダンパーモーター	2年	1・3・5年・・・	5～7年
	ファンユニット	2年	1・3・5年・・・	5～7年
そよ換気ユニット	箱体(断熱材含む)	5年	3年毎	10年
	ダンパーモーター	2年	1・3・5年・・・	5～7年
	ファンユニット	2年	1・3・5年・・・	5～7年
そよ風切替ユニット	排気ファン	2年	1・3・5年・・・	5～7年
	箱体（断熱材含む）	5年	3年毎	10年
	ダンパーモーター	2年	1・3・5年・・・	5～7年
そよ風ファンユニット	ファン	2年	1・3・5年・・・	5～7年
	箱体（断熱材含む）	5年	3年毎	10年
そよ風コイルユニット	熱交換コイル	2年	1・3・5年・・・	5年
	箱体（断熱材含む）	5年	3年毎	10年
そよ風ダンパーボックス	箱体（断熱材含む）	5年	3年	10年
	ダンパーモーター	2年	1・3・5年・・・	5～7年
	フィルター	1年	3ヶ月	5～7年
集熱部	ガラス抑え金物	5年	1・3・5年・・・	5年
	採熱板	5年	—	20年
集熱チャンバー	本体	5年	1・3・5年・・・	10年
GW ダクト	本体	2年	1・3・5年・・・	10年
床吹出口	本体	2年	1・3・5年・・・	5年
加温ボックス・	本体	2年	1・3・5年・・・	10年
切替吹出口	熱交換コイル	2年	1・3・5年・・・	5年

臨時点検の項目

状況	点検部分	点検内容
台風	切替ユニット・そよ風2ユニット・集熱チャンバ ー・ガラス集熱面・排気口	風による機器の脱落など 排気口から雨漏り
積雪	切替ユニット・そよ風2ユニット・集熱チャンバ ー・ガラス集熱面・排気口	積雪による機器の変形の有無など
地震	切替ユニット・そよ風2ユニット・ダンパーボッ クス・コイルユニット・集熱チャンバー・ガラス 集熱面・排気口・GWダクト・加温ボックス・	揺れによる機器の脱落など
雷	制御盤・切替ユニット・そよ風2ユニット・ダン パーボックス・ファンユニット	雷サージの侵入による電子機器の 故障

各構成部品とメンテナンスの時期

そよ風の部材は、それぞれ推奨される定期点検時期があります。

制御盤

本体	保証年数	2年
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年ごと
	保証内容	正常な動作
	<p>お手入・ 点検方法</p>	<p>制御盤本体のお手入れ方法ですが、手で操作するために汚れがつきやすくなります。</p> <p>また、ホコリが上部にたまることもありますので、定期的に中性洗剤を固く絞った布で軽く拭いて汚れを落としてください。</p> <p>また、表示や動作に異常を発見した場合には、症状を確認した上で、環境創機にご連絡してください。</p>
<p>取替・ 交換方法</p>	<p>制御盤本体は、コントロールユニット・・パワーユニット・太陽電池駆動ユニットとも、取り付けビスによって壁や柱に固定されておりますので、取り外して交換することができます。</p>	

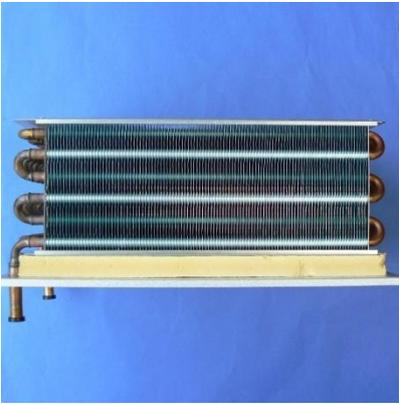
温度センサー	保証年数	2年
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	3年経過時、その後2年毎
	保証内容	正常な動作
	お手入・ 点検方法	<p>各温度センサーは通常目につきにくいところに設置されてますので、特別なお手入れなどは必要ありません。</p> <p>室温センサーについては、センサーカバーのホコリを定期的に払って目づまりを起こさないようにしてください。また、ストーブやエアコンを使用される場合には、その冷暖気が直接当たらないように、ご注意ください。</p> <p>外気温センサーについては、クモの巣が張られたり、鳥の巣などが貼ることの無いように定期的に確認してください。</p> <p>また、雨がかかる場所に設置してあれば、雨除けのカバーをかけるなどをしてください。</p>
	取替・ 交換方法	温度センサーは、通常配線が壁面に埋め込まれておりますので、交換はできません。

そよ風2ユニット・そよ風2Nユニット

そよ風2・そよ風2N ユニット箱体	保証年数	5年
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	3年経過時、その後2年毎
	保証内容	過度な腐食・穴あきの無いこと
	お手入れ・ 点検方法	そよ風2の箱体部については、なんらかの理由で異物が入り込んだときに、ダンパー板が開閉しない症状が現れることがあります。 また、地震や雪害により、屋根面に過度な荷重がかかったときも、ごくまれに変形やたわみなどを生じる可能性があります。 大規模な地震や大雪の後、動作に異常が見られる場合には、症状を確認した上で、環境創機に連絡してください。
	取替・ 交換方法	そよ風2箱体を交換するには、屋根工事が必要となります。

ファンユニット	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	正常な運転動作
	お手入れ・ 点検方法	ファンユニットは、そよ風2ユニット内部に設置されています。 ベアリング等の劣化により、5から10年で寿命を迎え交換が必要になります。
	取替・ 交換方法	取入ダクトから外して交換できます。

ダンパーモーター	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	正常な動作
	お手入・ 点検方法	<p>ダンパーモーターはダンパー板を動かす低速のギアモーターです。</p> <p>長年の稼働や落雷によって電氣的や機械的に故障することがあります。</p> <p>点検によって、動作に異常を見つけた場合や、異音がするなどした場合、交換してください。</p>
	取替・ 交換方法	そよ風2ユニットのフタを外し、ダンパー軸棒から引きぬいて交換できます。

お湯採りコイル	保証年数	2年
	設計耐用年数	5年
	推奨点検時期	設置年のお湯採り開始時期、その後2年ごと
	保証内容	正常な動作
	お手入・ 点検方法	<p>お湯採りコイルは、長年の使用によりコイルに穴が空き水漏れを起こすことがあります。</p> <p>水漏れを発見した場合、コイルの交換をしてください。</p>
	取替・ 交換方法	取付用のフタをネジで外すことでコイルを交換できます。

そよ換気ユニット

<p>そよ換気 ユニット箱体</p>	<p>保証年数</p>	<p>5年</p>
	<p>設計耐用年数</p>	<p>10年</p>
	<p>推奨点検時期</p>	<p>3年経過時、その後2年毎</p>
	<p>保証内容</p>	<p>過度な腐食・穴あきの無いこと</p>
	<p>お手入・ 点検方法</p>	<p>そよ換気の箱体部については、なんらかの理由で異物が入り込んだときに、ダンパー板が開閉しない症状が現れることがあります。</p> <p>また、地震や雪害により、屋根面に過度な荷重がかかったときも、ごくまれに変形やたわみなどを生じる可能性があります。</p> <p>大規模な地震や大雪の後、動作に異常が見られる場合には、症状を確認した上で、環境創機に連絡してください。</p>
	<p>取替・ 交換方法</p>	<p>そよ換気箱体は、屋根下からビスを取り外すことができます。</p>

<p>ファンユニット</p>	<p>保証年数</p>	<p>2年</p>
	<p>設計耐用年数</p>	<p>7年</p>
	<p>推奨点検時期</p>	<p>1年経過時、その後2年毎</p>
	<p>保証内容</p>	<p>正常な運転動作</p>
	<p>お手入・ 点検方法</p>	<p>ファンユニットは、そよ風2ユニット内部に設置されています。</p> <p>ベアリング等の劣化により、5から10年で寿命を迎え交換が必要になります。</p>
	<p>取替・ 交換方法</p>	<p>取入ダクトから外して交換できます。</p>

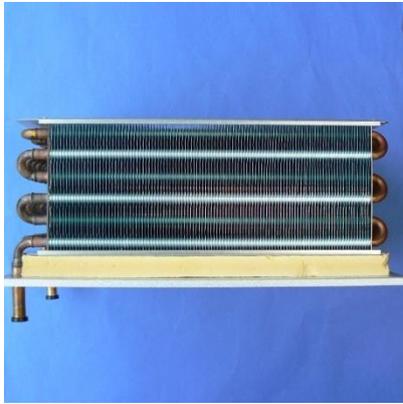
ダンパーモーター	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	正常な動作
	お手入・ 点検方法	<p>ダンパーモーターはダンパー板を動かす低速のギアモーターです。</p> <p>長年の稼働や落雷によって電氣的や機械的に故障することがあります。</p> <p>点検によって、動作に異常を見つけた場合や、異音がするなどした場合は、交換してください。</p>
	取替・ 交換方法	そよ風2ユニットのフタを外し、ダンパー軸棒から引きぬいて交換できます。

そよ風 切替ユニット・お湯採りコイルユニット

排気ファン	保証期間	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	設置年の夏到来時期、その後2年ごと
	保証内容	正常な動作
	お手入・ 点検方法	<p>切替ユニットに設置されている排気ファンは、長年の使用により、ベアリングのグリスが劣化することで、送風機能が低下しはじめ、最終的には動かなくなります。</p> <p>排気ファン部分から異音がしたり、唸り音が継続して出始めたときには、排気ファンの交換が必要となります。</p> <p>動作に異常を発見した場合には、症状を確認した上で、環境創機に連絡してください。 (排気ファンは制御盤の故障によっても運転が止まることがあります)</p>
	取替・ 交換方法	排気ファンは、切替ユニット本体の下側についているフタを外すことで取り外して交換することができます。

切替ユニット・コイルユニット箱体	保証年数	5年
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	3年経過時、その後2年毎
	保証内容	過度な腐食・穴あきの無いこと
	お手入・ 点検方法	<p>切替ユニットの箱体部については、なんらかの理由で異物が入り込んだときに、ダンパー板が開閉しない症状が現れることがあります。</p> <p>また、地震や雪害により、屋根面に過度な荷重がかかったときも、ごくまれに変形やたわみなどを生じる可能性があります。</p> <p>大規模な地震や大雪の後、動作に異常が見られる場合には、症状を確認した上で、環境創機に連絡してください。</p>
	取替・ 交換方法	切替ユニット箱体を交換するには、屋根工事が必要となります。

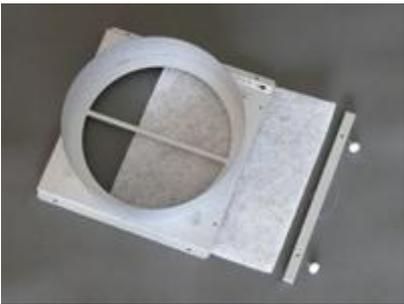
ダンパーモーター	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	正常な動作
	お手入・ 点検方法	<p>ダンパーモーターはダンパー板を動かす低速のギアモーターです。</p> <p>長年の稼働や落雷によって電氣的や機械的に故障することがあります。</p> <p>点検によって、動作に異常を見つけた場合や、異音がするなどした場合は、交換してください。</p>
	取替・ 交換方法	取り付け用のネジを外すことでダンパー軸棒から引きぬいて交換できます。

お湯採りコイル	保証年数	2年
	設計耐用年数	5年
	推奨点検時期	設置年のお湯採り開始時期、その後2年ごと
	保証内容	正常な動作
	お手入・ 点検方法	<p>お湯採りコイルは、長年の使用によりコイルに穴が空き水漏れを起こすことがあります。</p> <p>水漏れを発見した場合、コイルの交換をしてください。</p>
	取替・ 交換方法	取付用のフタをネジで外すことでコイルを交換できます。

そよ風 ダンパー付リターンロ・リターンボックス

ダンパー付リターンロ・ リターンボックス箱体	保証年数	5年
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	3年経過時、その後2年毎
	保証内容	過度な腐食・変形など
	お手入・ 点検方法	
	取替・ 交換方法	取り付けのネジを外して交換することができます。

ダンパーモーター	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	正常な動作
	お手入・ 点検方法	ダンパーモーターはダンパー板を動かす低速のギアモーターです。 長年の稼働や落雷によって電氣的や機械的に故障することがあります。 点検によって、動作に異常を見つけた場合や、異音がするなどした場合は、交換してください。
	取替・ 交換方法	取り付け用のネジを外すことでダンパー軸棒から引きぬいて交換できます。

フィルター	保証年数	—
	設計耐用年数	1年
	推奨点検時期	3ヶ月ごと
	保証内容	消耗品につき保証対象外です
	お手入・ 点検方法	<p>《そよ風》では、取入運転では外気、循環運転では室内空気が必ずフィルターを通過します。特に室内の循環空気には、塵埃やハウスダスト等が含まれていますので、目詰まり防止のため定期的にフィルターを清掃して下さい。</p> <p>フィルターの目詰まりは、風量の低下を引き起こし、棟温が高くなる原因となることがあります。</p> <p>清掃は掃除機をかけて行ってください。</p> <p>水洗いは、弾力を損なうおそれがありますので、避けてください。</p> <p>フィルターの汚れが目立ってきたら、新品に交換してください。</p>
取替・ 交換方法	ダンパー口の横についているフタを取り外すことで引き抜いて交換できます。	

そよ風 集熱ファンユニット

ハイパーファン	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	正常な運転動作
	お手入・ 点検方法	ハイパーファンは、通常取入ダクトの内部に埋め込まれております。 ベアリング等の劣化により、5から10年で寿命を迎え交換が必要になります。
	取替・ 交換方法	取入ダクトから外して交換できます。

メンテナンス編

T18SKBシロッコファン	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	正常な運転動作
	お手入・ 点検方法	T18SKBシロッコファンはハイパーファンと異なり露出しておりますが、やはりグリスの劣化などにより寿命を迎えます。
	取替・ 交換方法	シロッコファンはフタを外すことで交換することができます。

各構成部品とメンテナンスの時期

集熱面

ガラス抑え部材	保証年数	5年
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	過度な腐食・変形の無いこと
	お手入・点検方法	<p>ゴムパッキンの劣化</p> <p>集熱ガラスの周りは、パッキン材としてゴムパッキンを巡らせています。</p> <p>ゴムパッキンが紫外線などによって長年の間に劣化して、弾力性を失うと、端部がかけやすくなり、ガラスが割れやすくなります。</p> <p>パッキンが劣化したときは、交換をしてください。</p> <p>ビスのゆるみ</p> <p>ガラスや金物を固定しているビスは、木材や金属などの熱収縮によって、長年のうちに、緩みが出てきます。</p> <p>ビスがゆるむとそこから雨水が侵入して屋根下地材の腐食の原因となります。</p> <p>ビスのゆるみを点検し、必要に応じてシーリング工事を行うなどの措置を行なってください。</p> <p>集熱面の汚れ</p> <p>長い間にガラスが汚れが目立ってきます。また、鳥の糞などが付着するケースもあります。</p> <p>通常は問題ありませんが、屋根外装工事など足場をかける機会があれば、ガラス面の清掃を行なってください。</p>
	取替・交換方法	ガラス抑え金物を外すことでガラス交換をすることが可能です。

ポリカーボネイト集熱面	保証年数	対象外
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	過度な腐食・変形の無いこと
	お手入・点検方法	ポリカーボネイトも、ガラスと同様に経年劣化によって濁ってくる他、紫外線劣化によって、木端が欠けやすくなったり、ひび割れすることがあります。 劣化したときは、交換してください。
	取替・交換方法	

採熱板	保証年数	5年
	設計耐用年数	15年
	推奨点検時期	屋根の葺き替え時
	保証内容	過度な腐食・変形の無いこと
	お手入・点検方法	採熱板は、集熱屋根面の下に設置するために目視で確認することは難しいのですが、素材はサビに強いガルバリウム鋼板を使用していることもあり、ほとんど劣化することはありません。 屋根の葺き替え時に、同時に点検・清掃し、ゴミなどを取り除いてください。
	取替・交換方法	屋根の葺き替え時に、点検・清掃し、積雪などの影響により変形の著しいものがあれば交換してください。

そよルーフ	保証年数	10年
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年毎
	保証内容	過度な腐食・変形の無いこと・発電性能
	お手入・ 点検方法	特にありません。
	取替・ 交換方法	取替・交換には、取替交換工事が必要となります。

補助暖房製品

加温コイルボックス・ 加温コイル付切替吹出口	保証年数	2年
	設計耐用年数	5年
	推奨点検時期	設置年のお湯採り開始時期、その後2年ごと
	保証内容	過度な腐食・穴あきの無いこと
	お手入れ・ 点検方法	長い間使用することで、コイルのフィン部分に室内の埃が付着します。数年に1度は、床吹出口を取り外して掃除をしてください。
	取替・ 交換方法	取替・交換には、取り替え交換工事が必要となります。

メンテナンス編

各構成部品とメンテナンスの時期

加温パイプ	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	設置年のお湯採り開始時期、その後2年ごと
	保証内容	過度な腐食・穴あきの無いこと
	お手入・ 点検方法	長い間使用することで、コイルのフィン部分に室内の埃が付着します。数年に1度は、床吹出口を取り外して掃除をしてください。
	取替・ 交換方法	取替・交換には、取り替え交換工事が必要となります。

その他

取入ダクト	保証年数	2年
	設計耐用年数	10年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年ごと
	保証内容	穴あき
	お手入・ 点検方法	
	取替・ 交換方法	

床吹出口	保証年数	2年
	設計耐用年数	7年
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年ごと
	保証内容	正常な運転動作
	お手入・ 点検方法	取り外して、床下に掃除機のノズルを入れるなどしてホコリを吸い取ってください。 床吹出口本体は、乾いた布で軽く拭き取る程度にしてください。 フィルターがついている場合は、取り外して掃除機などでホコリを吸い取ってください。
	取替・ 交換方法	傷などからサビが目立ったり、変形が激しい場合には取り替えてください。

床下	保証年数	—
	設計耐用年数	—
	推奨点検時期	5年経過時、その後4年ごと
	保証内容	—
	お手入・ 点検方法	床下については、人が潜れるように高さを調節してあります。 床下には長年の使用により埃が基礎周りに堆積します。 数年おきに、定期的に掃除をすることで、新鮮空気を取り入れることができます。
	取替・ 交換方法	

軒先	保証年数	—
	設計耐用年数	—
	推奨点検時期	1年ごと
	保証内容	—
	お手入・ 点検方法	軒先についても、長年の使用により、埃が付着します。 また、クモなどの昆虫が巣を作ったりする可能性がありますので、こちらも定期的に掃除をしてください。
	取替・ 交換方法	

排気口	保証年数	—
	設計耐用年数	—
	推奨点検時期	1年経過時、その後2年ごと
	保証内容	—
	お手入・ 点検方法	排気口についても軒先と同様です。長年の使用により、埃が付着します。 また、クモなどの昆虫が巣を作ったりする可能性がありますので、こちらも定期的に掃除をしてください。
	取替・ 交換方法	

メンテナンス部品の交換方法

そよ風2N ファンユニットの交換



パワーユニットから、ファンモーターのケーブルを外した後、ファンユニットフタのネジを外します。



ファンユニットフタを外します。



ファンユニット止め金具のネジを外します。
その際、ファンユニットが落下するおそれがありますので、ファンユニット本体を押さえて注意しながら、ネジを外します。



ゆっくりとファンユニットを降ろします。



交換用ファンユニットの設置は、外すときと逆の手順で、ファンユニットを入れ、ファンユニット取り付け金具、フタの順でネジ止めして行います。

そよ風2N ダンパーモーターの交換

メンテナンス編



フィルターフタを取り外します。



ダンパーモーターのフタを取り外します。

メンテナンス部品の交換方法



リターンダンパーモーターは、取り付け板のネジを外します。

排気ダンパーモーターはツメを外します。

そよ風2 ファンユニットの交換



パワーユニットから、ファンモーターのケーブルを外した後、ファンユニットフタのネジを外します。



ファンユニットフタを外します。



ファンユニット止め金具のネジを外します。
その際、ファンユニットが落下するおそれがありますので、ファンユニット本体を押さえて注意しながら、ネジを外します。



ゆっくりとファンユニットを降ろします。



交換用ファンユニットの設置は、外すときと逆の手順で、ファンユニットを入れ、ファンユニット取り付け金具、フタの順でネジ止めして行います。

そよ風2 排気ダンパーモーターの交換



標準型、一列型、お湯採り
西排気型はこちらの
フタを外します。

お湯採り東排気型は、
ファンユニットフタを
外します。



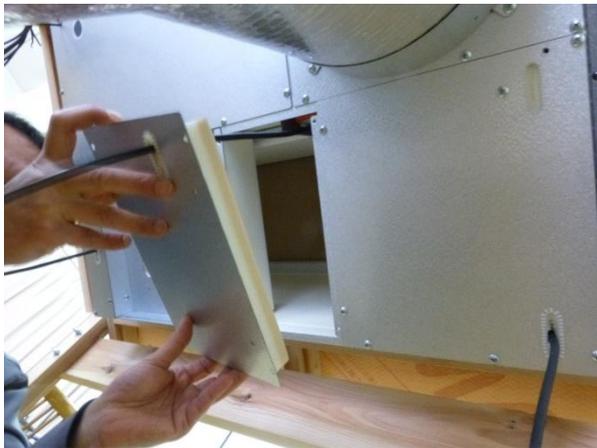
リターン口のフィルターフタのユリアネジを外
して、フィルターフタを外します。



フィルターフタを外します。



排気ダンパーモーターフタのネジを外します。
 そよ風2 東排気型の場合には、ファンユニット
 フタを外してください。



排気ダンパーモーターフタを外します。



排気ダンパーモーターは、そよ風2のそれぞれの
 タイプによって、表向き（ラベルが見える向き）、
 裏向き（ラベルが見えない）設置が変わります。
 必ず交換前の状態を確認して同じ向きにして設
 置してください。

- そよ風2標準型 表向き
- そよ風2一列型 表向き
- そよ風2東排気 表向き
- そよ風2西排気 裏向き



そよ風2西排気型は、ダンパーモーターを裏向き（ラベルが見えない）にして交換してください。



プラスチックの爪を広げて、ダンパーモーターを取り外してください。



取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。それぞれの型に合った向きに注意して取り付けしてください。

そよ風2 リターンダンパーモーターの交換



リターン口用フィルターのフタを外した後、リターンダンパーモーターのフタの取り付けネジを外します。



リターンダンパーモーターのフタは、下から引きぬくようにして取り外します。



フタを取り外すと、排気ダンパーモーターを確認できます。
排気ダンパーモーターは裏向き（ラベルが見えない）に設置されています。



リターンダンパーモーターは、排気ダンパーモーターと同じように、中央部に、プラスチック製の留め具の爪で固定されています。爪を押し広げることで取り外して、交換することができます。

取り外したときと逆の手順で取り付けます。

そよ風2 コイルユニットの交換



コイルユニットフタのネジを取り外します。



コイルユニットフタを取り外します。



コイルの底面が見えますので、取り付けネジを外します。



コイルを取り外します。
取り外したときと逆の手順で取り付けます。

そよ換気 ファンの交換



そよ換気ユニットの真ん中のフタのネジをドライバーで外します。



慎重にフタを外すと、ファンを取り出すことができます。



ファンを取り出したところです。逆の手順でファンを交換することができます。

そよ換気 ダンパーモーターの交換



そよ換気ユニットの左右のフタのネジをドライバーで外します。



フタを外します。



止め金具のネジを外します。



ダンパーモーターを、ゆっくりと少しづつ動かして、から、引き抜きます。



逆の手順でダンパーモーターを、取り付けます。
入口側と出口側で、取り付けたときの向きが異なるので、注意して取り付けてください。



入口側(リターンダンパーモーター・3Pのプラグ)は、表面が見える向きに取り付けます。



出口側(排気ダンパーモーター・4Pのプラグ)は、裏面が見える向きに取り付けます。
向きが逆になると正常に動作しませんのでご注意ください。

そよ風 排気ファンの交換



切替ユニットの奥にあるフタのネジ2ヶ所をドライバーで外します。



排気ファンのフタを外します。



フタを外すと排気ファンが見えます。



ツメを抑えながら排気ファンを引っ張り出します。



排気ファンを取り出します。



排気ファンを引き出した後のツメです。
このツメにファンを引っ掛かるまで押し込んで
交換します。



前の写真で、見えたツメにひっかかるまで、交換用の排気ファンを押し込みます。



ツメにかかるまで押し込まれたところ。

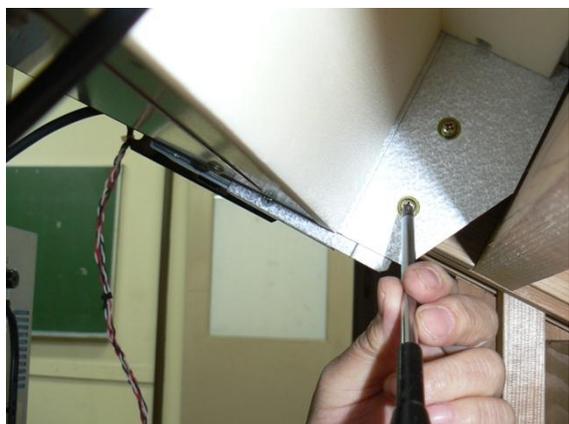


配線を少しづつ引っ張りながらフタを取り付けます。その後、フタをビスでネジ止めしてファンの交換が完了します。

そよ風 切替ユニット ダンパーモーターの交換



ダンパーモーターを取り付けているネジ2ヶ所を外します。



背面から見たところです。
上下2ヶ所のネジを取り外します。



黒いリリースボタンを押すと、ダンパーモーターの軸がフリーに動きます。
その上で、ダンパーモーターを取り外します。



交換用ダンパーモーターのリリースボタンを押しながら、ダンパー軸を右一杯まで回転させます。

このとき、回転方向スイッチを右下がり1の位置に設定されていることを確認します。

リリースボタン
ここを押すと軸が回ります。



切替ユニットの軸棒が垂直になっている場合は、水平にします。



ダンパーモーターのリリースボタンを押して調整しながら、交換用ダンパーモーターを軸に差し込みます。



最後に、ネジを取り付けて、ダンパーモーターの交換は終了です。

そよ風 ダンパー付リターンロ ダンパーモーターの交換



ダンパーモーターを取り付けている金具のネジを取り外します。



ダンパーモーターを引っ張って抜きます。



ダンパーモーターの軸が縦向きになっていることをたしかめて、そうならない場合には、軸を縦にします。



ダンパーモーターのリリースボタンを押しながら、ダンパーモーターの軸を右に目一杯までまわします。

」



ダンパーモーターの後ろに、金具をT字にして取り付けします。

そよ風 フィルターの交換



ダンパーリターン口横についている白いネジを外します。

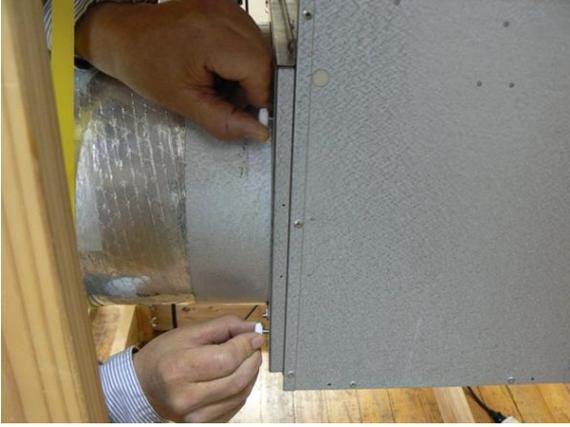


フィルターのフタを取り外します。



フィルターを引っ張り出します。

交換用フィルターを逆の手順で取り付けて交換を完了
します。



そよ風 ハイパーファンの交換

ハイパーファンの場合は、固定用に巻いているアルミテープを剥がすことで簡単に交換できます。

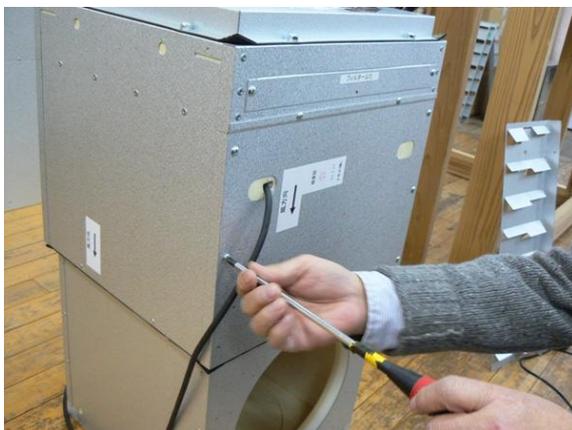
そよ風 T18SKB 取入ファンの交換



ファンボックスと風向箱を接続している下のボルトネジを2箇所取り外します。



ボルトネジの取外しを下から見た図



前面のネジを取り外します。



フタを取り外します。



ファンユニットを引き抜きます。

交換したファンを取り付けるには、逆の手順で行います。

そよ風 T18SKB フィルターの交換



フィルターフタのネジを外します。



フィルターを引張りだします。



フィルター枠からフィルターを取り出します。



「集熱側」と書かれた面を上側（横置きにしたときには、風上側）にして、フィルターを設置します。

（格子がついている方が風下です）

取り外したときと逆の手順でフィルターを交換します。

補助暖房コイルユニットの交換



コイルユニットのフタを取り付けているネジを取り外します。



フタを取り外します。



コイルを引き出します。

取り付けは、逆の順番で行います。

保証規定編

《そよ風》《そよ風2》《そよ風2N》《そよ換気》部材の保証

各部材の保証規定は、下記のとおりとなっております。

(8)本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is available in Japan only.

3.保証対象製品と保証期間

各製品別の保証期間は別表 1 によります。

別表 1 保証期間

製品名称	保証期間	製品名称	保証期間
制御盤 温度センサー ファンユニット ダンパーモーター 加温コイルボックス 加温コイル付切替吹出口 加温パイプ お湯採りコイル 床吹出口	2年	そよ風2ユニット箱体 集熱チャンバー箱体 ガラス押え部材 採熱板	5年

※保証期間の起算日は環境創機から製品出荷後六ヶ月もしくは引渡し日の早い方とします。

4. BL 認定品

《そよ風2》は、他の製品との組み合わせによっては、BL 認定品となります。

BL 認定品には、機器の前面に BL マークを表示しています。

BL 認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

(財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

お引渡し日	年 月 日		
製品出荷日	年 月 日		
お施主様	住所 〒		
	氏名	TEL	
販売店	住所 〒		
	氏名	TEL	

(販売元) 〒186-0002 東京都国立市東 3-26-12 国立 I GN 環境創機株式会社

TEL 042-577-5085

FAX 042-575-5243

®

(7)本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

(8)本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is available in Japan only.

3.保証対象製品と保証期間

各製品別の保証期間は別表 1 に依ります。

別表 1 保証期間

製品名称	保証期間	製品名称	保証期間
制御盤 温度センサー ファンユニット ダンパーモーター 加温コイルボックス 加温コイル付切替吹出口 加温パイプ お湯採りコイル 床吹出口	2年	そよ風 2N ユニット箱体 集熱チャンバー箱体 ガラス押え部材 採熱板	5年

※保証期間の起算日は環境創機から製品出荷後六ヶ月もしくは引渡し日の早い方とします。

4. BL 認定品

《そよ風 2》は、他の製品との組み合わせによっては、BL 認定品となります。

BL 認定品には、機器の前面に BL マークを表示しています。

BL 認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

(財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

お引渡し日	年 月 日		
製品出荷日	年 月 日		
お施主様	住所 〒		
	氏名	TEL	
販売店	住所 〒		
	氏名	TEL	

次世代換気システム《そよ換気》製品保証書

1. 《そよ換気》部材の保証について

環境創機株式会社（以下環境創機という）が販売する《そよ換気》部材は、以下に記載されている「保証規定」に基づいて保証されます。

2.保証規定

- (1)保証期間内においては、以下の保証規定に従い正常な使用状態で部材自体に不具合が発生した場合、環境創機から、《そよ換気》部材単体に対して、無償の修理または交換部材を提供いたします。
- (2)保証期間内に部材自体の不具合が生じて無償修理を受ける場合は、販売工務店もしくは販売設計事務所（以下販売店という）に本書を提示の上、修理をご依頼ください。本書の提示がない場合は有償となります。
- (3)本書に建物引渡し日、販売店名、お施主様氏名及び住所の記入の無い場合、あるいは標記内容が書き換えられた場合は無効となる場合があります。
- (4)保証内容及び不具合などについてご不明な点は、販売店または環境創機にお問い合わせください。
- (5)保証期間内でも次の場合には有償修理となります。
 - (a)取扱説明書・添付ラベルの注意書きなどによらないでご使用になった場合の不具合
 - (b)販売店もしくは環境創機以外による移動・修理・改造・分解などによる不具合
 - (c)適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
 - (d)工事説明書等を逸脱した施工に起因する不具合
 - (e)建築躯体の変形など《そよ換気》部材本体以外の不具合に起因する当該部材の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観などの変貌
 - (f)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (g)ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - (h)火災・爆発等の事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異、または公害・異常電圧・凍結、戦争・暴動等破壊行為による不具合
 - (i)消耗部品の消耗に起因する不具合
 - (j)ガス・電気・給水の供給トラブル等に起因する不具合
 - (k)指定規格以外のガス・電気等を使用したことに起因する不具合
 - (l)給水・給湯配管の錆等異物流入に起因する不具合
 - (m)温泉水、井戸水などであって、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合
 - (n)指定規格以外の熱媒を使用したことに起因する不具合

- (6) 一般家庭向け、もしくは福祉施設向け以外の業務用として使用したことに起因する不具合
- (6) この保証書によって、住まい手の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7) 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- (8) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is available in Japan only.

3.保証対象製品と保証期間

各製品別の保証期間は別表 1 によります。

別表 1 保証期間

製品名称	保証期間	製品名称	保証期間
制御盤 温度センサー ファンユニット ダンパーモーター 床吹出口	2 年	そよ換気ユニット箱体 採熱板	5 年

※保証期間の起算日は環境創機から製品出荷後六ヶ月もしくは引渡し日の早い方とします。

お引渡し日	年 月 日		
製品出荷日	年 月 日		
お施主様	住所 〒		
	氏名	TEL	
販売店	住所 〒		
	氏名	TEL	

(販売元) 〒186-0002 東京都国立市東 3-26-12 国立 I GN 環境創機株式会社 ㊞
TEL 042-577-5085 FAX 042-575-5243

- (n) 指定規格以外の熱媒を使用したことに起因する不具合
- (o) 一般家庭向け、もしくは福祉施設向け以外の業務用として使用したことに起因する不具合
- (6) この保証書によって、住まい手の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7) 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- (8) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is available in Japan only.

3.保証対象製品と保証期間

各製品別の保証期間は別表 1 に依ります。

別表 1 保証期間

製品名称	保証期間	製品名称	保証期間
制御盤	2 年	切替ユニット箱体	5 年
温度センサー		集熱チャンバー箱体	
排気ファン		コイルユニット箱体	
取入ファン		ダンパー付リターン口箱体	
ダンパーモーター		ダンパー付リターンボックス箱体	
加温コイルボックス		ガラス押え部材	
加温コイル付切替吹出口		採熱板	
加温パイプ			
お湯採りコイル			
床吹出口			

※保証期間の起算日は環境創機から製品出荷後六ヶ月もしくは引渡し日の早い方とします。

4. BL 認定品

《そよ風2》は、他の製品との組み合わせによっては、BL 認定品となります。

BL 認定品には、機器の前面に BL マークを表示しています。

BL 認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

(財) ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

お引渡し日	年 月 日		
製品出荷日	年 月 日		
お施主様	住所 〒		
	氏名	TEL	
販売店	住所 〒		

	氏名	TEL
--	----	-----

(販売元) 〒186-0002 東京都国立市東 3-26-12 国立IGN 環境創機株式会社
 TEL 042-577-5085 FAX 042-575-5243



保
証
規
定
編

《NUNUN》《NUNUN》《NUNUN》《NUNUN》
 《NUNUN》
 《NUNUN》
 部
材
の
採
買



次世代ソーラーシステム《そよ風》
設計・工事説明書（メンテナンス編・保証規定編）

発行者 環境創機株式会社

〒186-0002

東京都国立市東3-26-12 国立IGN

TEL 042-577-5085

FAX 042-575-5243

E-Mail info@kankyosouki.co.jp